

社会資本整備総合計画

『鴻巣市中心市街地における、「笑顔あふれる幸の巣」を具現化するまちづくり』
【平成22～25年度】

事後評価書

- 鴻巣駅周辺地区都市再生整備計画事業 【平成21～25年度】
- 鴻巣駅東口A地区市街地再開発事業 【平成22～24年度】
- (仮称)鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業 【平成25年度】

平成27年3月

埼玉県鴻巣市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	鴻巣市	地区名	鴻巣市中心市街地における、「笑顔あふれる幸の巣」を具現化するまちづくり		
交付期間	平成22年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	3,523百万円		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名					
		A基幹事業	都市再生整備計画事業	道路：三谷橋大間線、市道A-2041号線、高質空間形成施設：市道A-176号線インターロッキング舗装、土地区画整理事業：原馬室・滝馬室地区土地区画整理事業、地域創造支援事業：雨水函渠伏替（原馬室・滝馬室地区）、（仮称）歴史民俗資料館取得事業、まちづくり活動推進事業：エリアマネジメントワークショップ、市街地整備方針策定ワークショップ			
			市街地再開発事業	鴻巣駅東口A地区市街地再開発事業、（仮称）鴻巣駅東口宮本地区市街地再開発事業			
		B関連社会資本整備事業	街路事業：駅東通線・仲仙道線、宮本通線・駅北通線				
		C効果促進事業	なし				
	当初計画から削除した事業	事業名				削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
		A基幹事業	都市再生整備計画事業	地域創造支援事業：雨水函渠伏替	原馬室・滝馬室地区土地区画整理事業に伴う雨水函渠整備であったが、工事工法の変更・費用対効果を考慮したため	影響はあるものの軽微なため、目標・指標は据え置く	
			市街地再開発事業	なし	—	—	
		B関連社会資本整備事業	街路事業：駅東通線・仲仙道線、宮本通線・駅北通線				
			C効果促進事業	なし			
A基幹事業		都市再生整備計画事業	地域創造支援事業：公共下水道整備	三谷橋大間線（第1期）に付随する整備であり、一体的に整備することにより効果を発揮できるため	影響はあるものの軽微なため、目標・指標は据え置く		
			地域創造支援事業：再開発ビル保留床及び図書館内施設整備	旧鴻巣中央図書館の老朽化、耐震化及び駐車場不足等の課題解決と共に、再開発ビル内に移転整備をすることで、中心市街地の活性化を促進させるため	・「区域内公共駐車場利用台数」の指標を追加し、数値目標を923台とする		
			道路：三谷橋大間線（第2期）	「三谷橋大間線（第1期）」が供用開始を迎える中で、切れ目の無い更なる事業効果を望むため	・「調和の取れた土地利用に対する満足度」の数値目標を55%から58%に変更 ・「区域内公共駐車場利用台数」の数値目標を1,100台から1,200台に変更		
			道路：荒川左岸通線	「原馬室・滝馬室土地区画整理事業」にて整備した「荒川左岸通線」が、供用開始を迎える中で、切れ目の無い更なる事業効果を望むため	・「調和の取れた土地利用に対する満足度」の数値目標を55%から58%に変更 ・「区域内公共駐車場利用台数」の数値目標を1,100台から1,200台に変更		
			道路：鴻巣駅西口駅前広場	市の玄関口である駅前広場の安全性の確保と利便性を向上させ、西側区域発展及び中心市街地の活性化を促進させるため	・「調和の取れた土地利用に対する満足度」の数値目標を55%から58%に変更 ・「区域内公共駐車場利用台数」の数値目標を1,100台から1,200台に変更		
	道路：大間・滝馬室地区 区画道路9号		当該路線が位置する4地区は、暫定的に市街化調整区域として線引きをしていた地区から、鴻巣駅に西側の発展を担う地区として、平成23年に市街化区域に編入した区域である。市街化区域に相応しい環境を確保し、西側区域の発展を目的とする	・「調和の取れた土地利用に対する満足度」の数値目標を55%から58%に変更 ・「区域内公共駐車場利用台数」の数値目標を1,100台から1,200台に変更			
	道路：原馬室地区 区画道路1・2号						
	道路：小松2丁目地区 区画道路4号						
	道路：松原2・3・4丁目地区 区画道路1号						
	道路：松原2・3・4丁目地区 区画道路5・6号						
道路：松原2・3・4丁目地区 区画道路7・8号							
地域創造支援事業：再開発ビル保留床取得及び（仮称）市民活動サポートセンター内装整備	市民の交流促進と市民活動の拠点施設として、再開発ビル内に整備することで、中心市街地の更なる活性化を促進させるため	・「調和の取れた土地利用に対する満足度」の数値目標を55%から58%に変更 ・「区域内公共駐車場利用台数」の数値目標を1,100台から1,200台に変更					
	市街地再開発事業	なし	—	—			
	B関連社会資本整備事業	なし	—	—			
	C効果促進事業	なし	—	—			
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	—			
	変更	なし		—			

	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	指標	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
2) 社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	調和のとれた土地利用に対する満足度	%	45	H22	58	H25	47	48	△	あり なし ●	—	
	指標2	区域内公共駐車場利用台数	年間利用台数台 / 収容台数	1,050	H22	1,200	H25	1,143	1,260	○	あり なし	—	
	指標3	東西車両通過所要時間	分	11	H22	5	H25	11	4.3	○	あり なし	—	
	指標4										あり なし		
3) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	施設入込客数	人/年	1,000	20	3,000	H25	○	26,236	○	あり なし	回遊性を確保する為の道路整備や、ワークショップによる提言に基づいた、歴史民俗資料館の整備・活動等により、大きな集客に結びついた。	—
	その他の数値指標2	市内人形店 来客数	人/年	11,000	19	12,000	H25	○	12,380	○	あり なし	少子化や住宅事情等から、雛人形の需要が減少傾向にあるなか、歴史民俗資料館を中心として「人形のまち鴻巣」の伝統文化の発信し、中心市街地の魅力向上に努めた結果によるものと考えられる。	—
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	<p>・駅周辺地区に都市機能の集約が進み、通勤・通学者も気軽に立ち寄れる環境が整い、まちの賑わい向上に繋がっている。また、東西交通の核路線である三谷橋大間線(第1期)の開通は、好意的な意見を多数頂く結果となった。</p> <p>・埼玉県により「歴史民俗資料館」が景観重要建造物として指定されたほか、「歴史のみち広域景観形成プロジェクト」の一環である「歴史のみち計画モデル地区」に、人形町を含む地区が「鴻巣宿地区(旧中山道)」として指定されるなど、目標とした「伝統が息づいた駅周辺の商業・公益拠点と既存商店街との回遊行動の推進」の増進に期待もてる。</p> <p>・まちづくりの担い手である住民の意見を取り入れた市街地整備方針に基づく、長期未着手土地区画整理事業の見直しは、現在の社会情勢を踏まえた、身の丈にあったまちづくりのあり方として、他の長期未整備事業への波及が期待出来る。</p>												
5) 実施過程の評価	モニタリング	実施内容					実施状況				今後の対応方針等		
		事業の進捗状況、成果の発現状況及び事業の進め方の改善を行うためのモニタリング					実施した 実施しなかった				● ● 今後も適宜、当市を取り巻く環境を整理する上でも、まちづくりに関する庁内検討会議を開催していく。		
	住民参加プロセス	エリアマネジメントワークショップ					実施した 実施しなかった				● ● 施設運営は観光協会と市民の主体的な活動に任せ、市は後方支援に徹する。		
		滝馬室地区市街地整備方針策定ワークショップ					実施した 実施しなかった				● ● 住民のまちづくりへの関心を、まち全体に広げられるよう官民連携による取組を進めていく。特に長期未着手の都市計画決定事業においては積極的な取組を図る。		
持続的なまちづくり体制の構築	観光産業振興による地域活性化を目的とした「一般財団法人 鴻巣市観光協会」設立					実施した 実施しなかった				● ● 「歴史民俗資料館」を拠点とした、賑わいのあるまちづくりの活動を、まち全体の活性化へ繋げられるような活動を支援していく。			

